

地震の補償は「地震保険」のみ有効 「火災保険」と一緒に加入を

知らなきや損する

最初に、熊本県、大分県で地震の被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

世界で起きている地震の約10%が、日本と日本の周辺で起きています。なぜ、地震は起きるのでしょうか?地球の表面は、「プレート」と呼ばれる板のような岩の層で覆われていて、日本は、海のプレートの「太平洋プレート」「フィリピン海プレート」や陸のプレート「北米プレート」「ユーラシアプレート」などの複数のプレートが接する境界に位置しています。海のプレートは、陸のプレートの下に1年間に数cmから10cm程度のゆっくりとした速度で沈み込んでいきますが、引きずり込まれた陸のプレートの先端部にひずみがたまり、100年~200年ぐらいつつひずみの蓄積に限界がきて、壊れてずれ動き、陸のプレートの先端部が跳ね返ります。このときの衝撃で起きるのが「海溝型地震」です。2011年の東北地方太平洋沖地震のような巨大地震が起きることにつながるわけです。

また、日本列島は、プレートの移動により圧縮され、その押し合う力によって日本列島をのせている陸のプレート内の岩の層が壊れてずれることで「内陸型地震」が発生します。この地震は、地下約5~20kmぐらゐの浅い所で起きるため、私たちの生活に大きな被害をもたらすのです。この「内陸型地震」を起こす原因になっているのが「活断層」です。地中のある面を境に地盤の相対的なずれが存在するとき、これを「断層」といい、過去に地震を起こした形跡があって、将来も地震を起こす可能性がある断層のことを「活断層」といいます。現在、日本では2000以上もの「活断層」が見付かっています。北陸地方にもいくつか活断層があり、その中の「森本・富樫活断層」は、地震が起こる確率

損害時の保険金	損害の程度に応じて支払われる 全損の場合・・・保険金額の100% 半損の場合・・・保険金額の50% 一部損の場合・・・保険金額の5%
地震保険料	所在地(都道府県)と建物の構造によって決まる (地震保険料は保険会社が異なっても同一) 建築年数割引や耐震等級割引などがある)

の高い活断層となっています。

地震に備えるために、日ごろから地震が起きたときに、命を守る方法や財産を守る方法を考えることが必要です。その方法の一つに、地震保険があります。地震保険は、地震等による被災者の生活の安定に寄与することを目的に、民間保険会社と政府が一緒になって行っている保険制度です。過去、阪神・淡路大震災や東日本大震災などの巨大地震が発生した際にも、円滑に保険金が支払われています。

火災保険では、地震を原因とする火災による損害や、地震により延焼・拡大した損害は補償されません。地震保険は、地震・噴火または津波を原因とする火災・損壊・埋没・流失による損害を補償する地震災害専用の保険です。地震保険の対象は、居住用の建物と家財で、火災保険に付帯する方式で契約するので、火災保険への加入が前提です。地震保険の保険金額は、火災保険の保険金額の30%~50%の範囲内で決めることとなります。ただし、建物は5000万円、家財は1000万円が上限です。すでに火災保険を契約されている場合は、契約期間の中途からでも地震保険に加入できます。



暮らしのマネープラン相談センター 所長
サードファイナンスファイナンシャルプランナー

高橋 昌子

あなたの暮らしと財産を守るパートナー

■時間相談 …… 1時間まで3000円 2時間まで5000円

教育資金・老後資金・相続・住宅ローン・保険の見直しや商品選択、確定拠出年金など何でも相談できます

■マイホーム資金・住宅ローン相談 ……………… 3万円

無理のない予算額、頭金や購入時期、最適な住宅ローン・生命保険・火災保険など、マイホーム購入にまつわるマネープランについて何でも、マイホーム購入まで時間を気にせず相談できます

■退職資金・マネープラン相談 ……………… 3万円

退職後の手続き、年金や保険、退職資金計画など退職後の生活設計について何でも、時間を気にせず相談できます



暮らしのマネープラン相談センター 金沢市此花町3-2 [ライブ1ビル1F] ☎076-232-2038 要予約

(株)FPサポート研究所 <http://www.fpsl.co.jp/> ●平日/10:00~19:00 ●土日/10:00~17:00